

REDD プラスへの取組動向

Country Report カメルーン共和国



平成 24 年度

独立行政法人 森林総合研究所
REDD 研究開発センター



REDD プラスへの取組動向

Country Report

カメルーン共和国

-目次-

1	森林の概況	2
1.1	経年変化	2
1.2	今後の森林計画等	3
2	REDD プラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDD プラス実施体制 ³	4
2.3	FCPF 及び UN-REDD への参加	6
2.4	REDD プラスロードマップの作成 ²	6
2.5	活動スケジュール及び資金計画	6
2.6	REDD プラスへの取組（年表）	6
2.7	その他	7
3	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	7
3.1	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	7
3.2	日本の支援状況	10
4	UNFCCC への関与情報	11
4.1	UNFCCC での取組状況	11
4.2	NAMAs における REDD プラスの位置づけ	11
5	UNFCCC へ提出している森林情報	11
6	その他の特徴的な地球温暖化対策	11

1 森林の概況

- カメルーンはアフリカ西部コンゴ盆地の西端に位置し、国土面積の約 42%に相当する約 20 百万 ha が森林に覆われている¹。森林は主に熱帯雨林であり、そのうち低地常緑林が全森林面積の約 54%、低地半落葉樹林が約 28%を占める²。沿岸部には約 120 千 ha のマングローブ林が生育しており、内陸部には劣化した低地半常緑林がモザイク状に分布している²。
- カメルーンの森林は全て国有林であるが、管理については国が森林面積の約 56%、民間事業者等が約 41%、コミュニティが約 3%を担っている¹。また、森林面積の約 46%が保護林、約 39%が管理計画を有する森林である¹。
- カメルーンはコンゴ盆地諸国において森林減少速度が最も大きい国の1つである。その速度は経年的に上昇傾向にあり、2000 年～2005 年における平均的な年間森林減少面積は森林面積の約 1%に達している³。森林減少・森林劣化の主な要因は、農地開発（生産性の低い農地への転用）、燃料材の収穫及び低効率利用、違法伐採、鉱山開発、インフラ開発等である³。
- カメルーンは「森林法の施行・ガバナンス・貿易に関する欧州連合行動計画（Forest Law Enforcement, Governance and Trade : FLEGT）」に基づいて違法伐採対策を進めている（2010 年 5 月に EU との間で自主的の二国間協定に署名）⁴。REDD プラス戦略はこうした取組と連携しつつ策定される。
- 2013 年以降、REDD プラスのポテンシャル評価やパイロット事業等を順次実施し、2015 年中に REDD プラス戦略を策定する予定である。

1.1 経年変化

【表 1-1 カメルーンの概況】

	1990 年	2000 年	2010 年
人口（中位推計） ⁵ （千人）	12,181	15,678	19,599
GDP ⁵ （百万米ドル）	11,152	10,075	22,480
1 人あたり GDP ⁵ （米ドル/人）	972	592	1,207
GDP 成長率 ⁵ （%）	-6.1	4.2	3.2
国土面積 ¹ （千 ha）	47,544	47,544	47,544
森林面積 ¹ （千 ha）	24,316	22,116	19,916
森林率（%）	51.1	46.5	41.9
年平均森林減少面積 ¹ （千 ha/年）	-	220	220
Primary Forest ¹ （千 ha）	-	-	-
Other naturally regenerated forest ¹ （千 ha）	-	-	-
Planted Forest ¹ （千 ha）	-	-	-
Carbon stock in living forest biomass ¹ （百万 t）	3,292	2,993	2,696

（注）森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

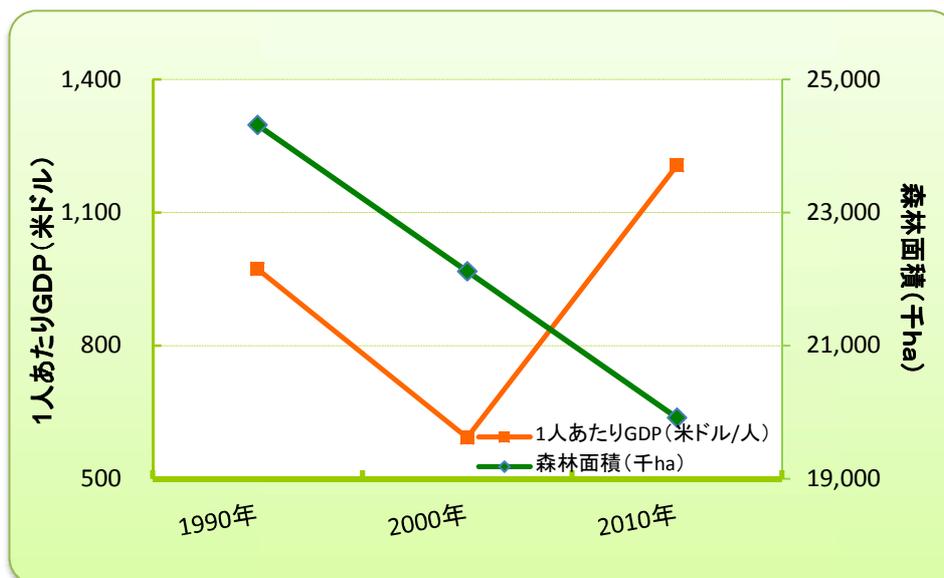
¹ 出典：FAO（2010）Global Forest Resources Assessment 2010. Global Tables.

² 出典：ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011.

³ 出典：Republic of Cameroon（2012）Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon.

⁴ 出典：The REDD Countries Database（2011）Cameroon: An Overview from the REDD Countries Database.

⁵ 出典：UN data



【図 1-1 カメルーンの 1 人あたり GDP と森林面積（1990～2010 年）】¹

1.2 今後の森林計画等

- 1994 年に改定された森林法において森林の持続可能な利用に向けた方向性が示された。2005 年には政府内部において林業と環境に関する政策文書の署名が行われ、持続可能な森林経営に関する基本原則が定められた⁶。

2 REDD プラスへの取組状況

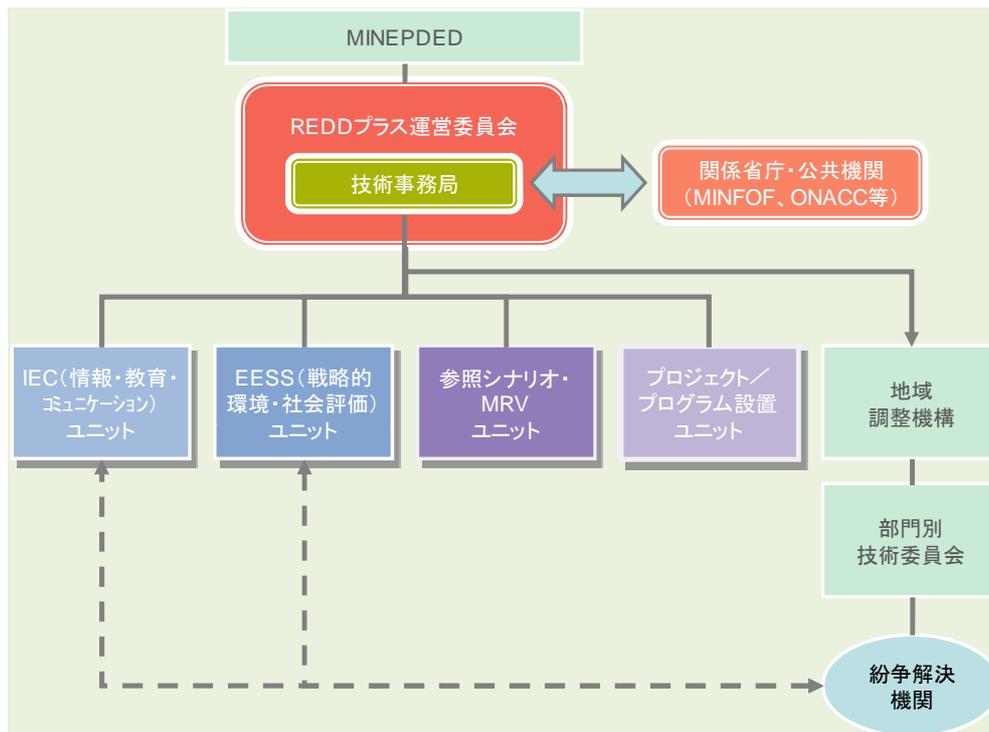
2.1 取組開始

- カメルーンは、2007 年、欧州の全球環境・安全モニタリング計画（Global Monitoring for Environment and Security : GMES）の枠組みの下で REDD プラスのパイロットプロジェクトを開始した（森林保全プロジェクトは 2007 年以前から実施）。開始当初、プロジェクトはリモートセンシング技術を用いた森林被覆のモニタリング調査に限られていたが、その後ドイツ復興金融公庫（Kreditanstalt für Wiederaufbau : KfW）やドイツ技術協力公社（Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit : GTZ）の支援を受け、炭素ストック量の評価や排出・吸収量の算定に係る能力開発まで活動範囲を拡大した⁴。

⁶ 出典：ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011.

2.2 REDD プラス実施体制³

- カメルーンでは、現在、REDD プラスの実施体制の整備が進められている。具体的には、2012 年に実施体制の計画が立案され、現在はその実施に向けて関係機関の整備や人材育成等に着手しているところである。カメルーンにおける REDD プラスの実施機関は環境・自然保護・持続的開発省（Ministry of the Environment, the Protection of Nature and Sustainable Development : MINEPDED）であり、関係省庁との連携や地方組織の支援を通して REDD プラス戦略を作成する予定である。
- 各プロセスの意思決定は REDD プラス運営委員会（REDD+ Steering Committee）が行う。環境・自然保護・持続的開発省（MINEPDED）を含む関係省庁、市民社会、先住民、民間セクター等から構成され、REDD プラスに係る政策や戦略の立案、プロジェクト選定基準の作成、提出されたプロジェクト計画の評価等を担当する。
- REDD プラスに関する取組の実際の運営は、環境・自然保護・持続的開発省（MINEPDED）の調整の下に設置される技術事務局（Technical Secretariat）が担当する。技術事務局は、UNFCCC のフォーカルポイントでもある。技術事務局内には下記の分野別ユニットを設置し、REDD プラス戦略の実施に向けた技術支援を行う。
 - ・ IEC（情報・教育・コミュニケーション）ユニット（2 名）：コミュニケーションに関する事項のほか、省庁間調整の支援を担当
 - ・ EESS（戦略的環境・社会評価）ユニット（3 名）：環境的・社会的側面に関する評価ツールの整備等を担当
 - ・ 参照シナリオ・MRV ユニット（3 名）：参照シナリオや MRV システムの整備、登録簿の管理を担当
 - ・ プロジェクト／プログラム設置ユニット（2 名）：プロジェクト／プログラムの設置、進捗管理、REDD プラス戦略への成果反映等を担当



(注) MINFOF : Ministry of Forests and Wildlife
ONACC : Observatoire National sur les Changements Climatiques

【図 2-1 カメルーンにおける REDD プラス実施体制】⁷

【表 2-1 カメルーンの REDD プラス関係省庁及びその役割】⁸

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
環境・自然保護・持続的開発省(MINEPDED)	<ul style="list-style-type: none"> REDD プラスの実施機関 プロジェクトの有効化や承認等を実施
森林・野生生物省 (Ministry of Forests and Wildlife: MINFOF)	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の構成メンバー。MINEPDEDとともに中心的な役割を果たす REDD プラスと FLEGT プロセスとの一貫性確保や相乗効果発揮に向けた調整を実施
国立気候変動観測所 (Observatoire National sur les Changements Climatiques: ONACC)	<ul style="list-style-type: none"> MINEPDED 及び財務省の管理下にある行政機関。気候変動対策の効果のモニタリング・評価を実施 REDD プラス活動のモニタリングのほか、REDD プラス戦略の策定に対して技術的支援が可能
地域調整機構 (Regional Coordination Structure)	<ul style="list-style-type: none"> 技術事務局と部門別調整機構の連携促進を担当
部門別技術委員会 (Departmental Technical Committees)	<ul style="list-style-type: none"> MINEPDED 及び MINFOF の部門別代表者及び総てのステークホルダーから構成される ローカルレベルの活動 (REDD プラス活動のモニタリング、REDD プラス戦略策定に向けた情報の収集と提供等) を実施
紛争解決機関 (Conflict Resolution Bodies)	<ul style="list-style-type: none"> ローカルレベルの紛争の解決を図る機関。首長や公共機関、市民社会から構成される (紛争の内容や規模によって変化する) 紛争解決は技術事務局の EESS ユニットと調整を図りながら進められる。また、情報は IEC ユニットにおいて保管される

⁷ 出典 : Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon : 5 Figure 1.

⁸ 出典 : Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon : 5-10.

2.3 FCPF 及び UN-REDD への参加

- カメルーンは世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility：FCPF）の参加国である。2008年7月に Readiness Plan Idea Note（R-PIN）を提出し、2010年11月に200千米ドルの支払いが行われた。2012年9月には Readiness Preparation Proposal（R-PP）を提出したところである。

2.4 REDD プラスロードマップの作成³

- R-PPに2015年までの REDD プラスロードマップが示された。ロードマップは FCPF の R-PP の様式に基づいており、以下の項目を網羅している。
 - ・ 準備段階の活動（実施体制の構築等）
 - ・ ステークホルダーとの情報共有と対話
 - ・ 土地利用、森林政策、ガバナンスの評価
 - ・ REDD プラス戦略の策定
 - ・ 参照レベルの作成
 - ・ モニタリングシステムの設計

2.5 活動スケジュール及び資金計画

- カメルーンの主な REDD プラス資金は、二国間あるいは多国間によるプロジェクト支援に由来する。例えば、デンマーク国際開発事業団（Danish International Development Agency：DANIDA）、KfW、GTZ、EU、英国国際開発省（Department for International Development：DFID）、地球環境ファシリティ（Global Environment Facility：GEF）等が含まれる。
- FCPF から、既に200千米ドルの資金提供を受けている。加えて、2012年9月に提出した R-PP が受理されると追加的に3,600千米ドルの支払いを受ける予定である。
- 日本は、2009年度に無償資金協力として、森林破壊の抑制や温室効果ガスの排出削減への貢献のため8億円の資金支援を行っている。

2.6 REDD プラスへの取組（年表）

【表 2-2 REDD プラスに関する主な取組】

REDD プラスに関する主だった取組	
2007年	■ パイロットプロジェクトを開始
2008年	■ 世界銀行 FCPF へ R-PIN を提出
2010年	■ 世界銀行 FCPF から R-PP 作成のための資金(20 万米ドル)を受領
2012年	■ 世界銀行 FCPF へ R-PP を提出
2013年以降	■ REDD プラスのポテンシャル評価やパイロット事業等を順次実施 ■ 2015年中に REDD プラス戦略を策定

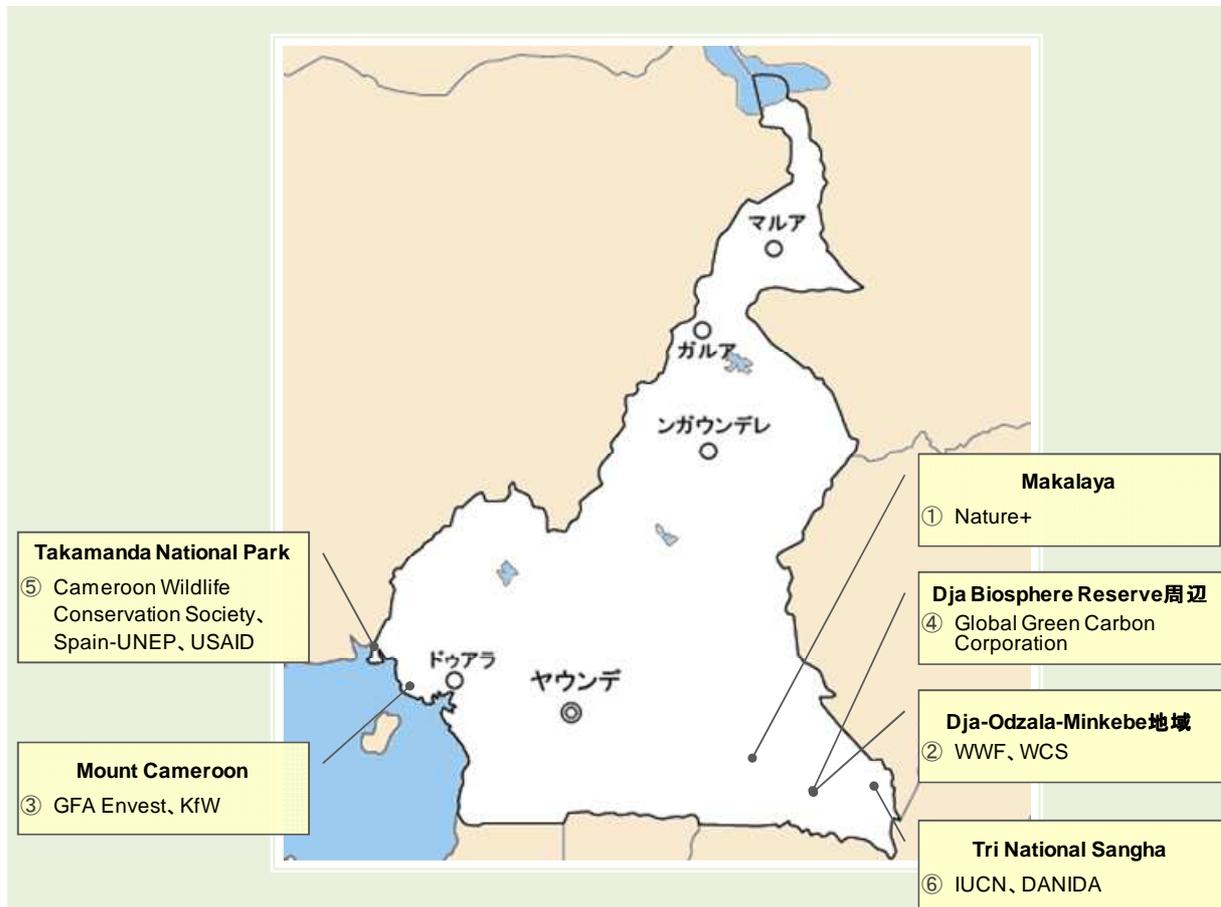
2.7 その他

- ➔ カメルーンは 2005 年以降、中央アフリカ森林協議会 (Central Africa Forests Commission: COMIFAC) のメンバー国として REDD プラスに係る国際交渉に強く関与している。

3 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

3.1 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

- ➔ カメルーンにおいて実施されている REDD プラス活動は、目的、実施段階ともに様々である。
- ➔ 対象地が複数国にまたがるプロジェクトが比較的多いことも特徴の 1 つである。
- ➔ 主なドナーは NGO、欧州各国の援助機関である。



(注) 図中の番号は、表 3-1 と対応。

【図 3-1 カメルーンにおける主だった REDD プラス関連事業の実施地域及び実施団体】

【表 3-1 カメルーンにおける主だった REDD プラス関連事業実施及び資金支援の状況】

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施			
① NGO による支援	Nature+	Makalaya	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Sustainable Forest Management in East Cameroon」⁹。 ■ 2002 年にプロジェクト開始。取組は、既に終了している。 ■ 植生地図の作成を目的として NGO がカメルーン国内の森林関連企業を技術支援。インベントリの作成、管理計画の立案、生態系や商用材に関する研究、森林認証に向けた助言等を実施。
② NGO による支援	World Wildlife Fund (WWF)、Wildlife Conservation Society (WCS)	Dja-Odzala-Minkebe 地域	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project」¹⁰。 ■ 2003 年にプロジェクト開始。 ■ 対象地面積は、約 15 百万 ha。 ■ 自然資源の管理能力を強化することによって森林の劣化や生物多様性の損失を抑制。
— NGO による支援	MINFOF、Planet Survey	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Forest Governance Facility」¹¹。 ■ 2006 年にプロジェクト開始。 ■ 森林政策の立案・実施に行政以外の参加を促すことを目的に、政策に関連する公有地を整備。 ■ 2011 年、プロジェクトの管理が SNV (オランダ) から Planet Survey (カメルーン国内の NGO) へ移行した。
— 二国間基金	ドイツ政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2007 年に GMES の枠組みの下でパイロットプロジェクトを開始¹²。 ■ プロジェクト開始当初はリモートセンシング技術を用いた森林被覆のモニタリング調査に限られていたが、その後 KfW や GTZ の支援を受け、炭素ストック量の評価や排出・吸収量の算定に係る能力開発まで活動範囲を拡大。
③ 民間による支援	GFA Envest、KfW	Mount Cameroon	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Mt. Cameroon- REDD+ Feasibility Study」¹³。 ■ 2008 年に実施された短期プロジェクト。 ■ 対象地における REDD プラスの実現可能性を評価。森林減少の影響評価、ドライバー特定、緩和戦略の検討、ベースラインシナリオ作成を実施。 ■ プロジェクト終了後、MINFOF 及び MINEPDED とプロジェクト形成について協議。2010 年、新たにプロジェクトが開始された。

⁹ 出典：Planet Action (2012) Sustainable Forest Management in East Cameroon.

¹⁰ 出典：WWF (2012) Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project.

¹¹ 出典：DFID (2012) Forest Governance Facility.

¹² 出典：MINEP, GAF (2009) Preliminary Results and Perspectives of the REDD Pilot Project in Cameroon.

¹³ 出典：GFA Envest (2012) Mt. Cameroon- REDD+ Feasibility Study.

【表 3-1 つづき】

事業/支援 タイプ	主だった実施主体	実施場所	取組の概要	
パイロット事業実施				
—	NGOによる支援	Global Witness、DFID	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2008年にプロジェクト開始(期間は4年間)¹⁴。 ■ 森林セクターにおける市民社会の関与拡大を目的に、地域のNGOのモニタリング能力を強化。 ■ DFID(英国)が500千米ドルを拠出。
—	NGOによる支援	Alternatives to Slash and Burn Partnership for the Tropical Forest Margins (ASB)、ノルウェー開発協力局(Norwegian Agency for Development Cooperation: NORAD)	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「REAU: Reducing Emissions from All Land Uses」¹⁵。 ■ 2009年に取組開始。 ■ 途上国におけるREDDプラス戦略策定・実施能力の強化を目的として、ドライバーの分析、焼畑農業から炭素貯留型アグロフォレストリーへの転換あるいはプランテーションから小規模林業への転換に関する方策のレビューを実施。 ■ NORAD(ノルウェー)から資金援助を受けている。
—	NGOによる支援	ASB、EC	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「REDD-ALERT」¹⁶。 ■ 2009年に取組開始。 ■ 多様なドライバーの文書化、森林の転用比率や炭素ストック変化量の定量化、定量化手法の改善、政策オプションの特定・評価等を実施。 ■ ECから資金援助を受けている。
④	民間による支援	Global Green Carbon Corporation	Dja Biosphere Reserve 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「The Dja Biosphere Regional REDD+ Project」¹⁷。 ■ 2011年にプロジェクト開始。 ■ 約1,229千haの対象地の保護強化、持続可能なアグロフォレストリーの実施、森林減少や密猟の抑制、バッファーエリアにおける再植林活動を実施。 ■ 実施にあたっては研究機関と連携。
⑤	NGOによる支援	Cameroon Wildlife Conservation Society、Spain-UNEP、米国国際開発庁(United States Agency for International Development: USAID)	Takamanda National Park	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Explore economic incentives to conserve Cross River gorilla habitat in Takamanda」^{18,19}。 ■ 2011年にプロジェクト開始。 ■ 対象地面積は、約430千ha。 ■ クロスリバーゴリラの生息域の保護は、地域の生態系サービスの適正管理につながり、したがって地域住民の生計を維持することになる。また、重要な炭素吸収源を保護することにもなる。 ■ スペイン-UNEP パートナーシップとUSAID(米国)から資金援助を受けている。

¹⁴ 出典：REDD Desk (2012) Making the Forest Sector Transparent.

¹⁵ 出典：ASB (2012) Reducing Emission from All Land Uses.

¹⁶ 出典：ASB (2012) REDD-ALERT.

¹⁷ 出典：Global Green Carbon (2010) Cameroon/ The Dja Biosphere Regional REDD+ Project.

¹⁸ 出典：Spain-UNEP (2012) Takamanda National Park, Cameroon.

¹⁹ 出典：CBD (2012) Conserving the Cross River Gorilla Landscape: Piloting a landscape-scale approach to Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD).

【表 3-1 つづき】

事業/支援 タイプ	主だった実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施			
⑥ NGOによる支援	国際自然保護連合 (International Union for Conservation of Nature and Natural Resources: IUCN)、DANIDA	Tri National Sangha	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「IUCN's Pro-poor REDD project」²⁰。 ■ REDD プラスの行動計画や戦略に貧困削減の要素を明確に位置づけることを目指したプロジェクト。 ■ デンマーク(DANIDA)が資金を援助。
資金支援			
— NGOによる支援	WWF	Southeast Cameroon	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Sustainable forest management in Southeast Cameroon」²¹。 ■ 持続可能な森林経営や森林認証イニシアティブを促進するため、カメルーン東南部における林産企業を支援。 ■ WWF の拠出額は年間 10 万米ドル。
— 国際基金	FCPF	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ R-PP 作成の支援として、20 万米ドルを拠出。

(注) 左列の番号は、図 3-1 と対応。

3.2 日本の支援状況

➡ 以下の無償資金協力が実施されてきた。

- ・ 環境プログラム無償「森林保全計画」²²：森林の基礎情報の収集、モニタリング、評価等に必要な資機材を調達するための 800 百万円の資金供与を実施（2009 年度）
- ・ 「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画」²²：ITTO と連携し、森林技術者育成支援のため、持続可能な森林経営に関する訓練プログラムの策定、訓練プログラム実施に必要な施設・機材の整備、各国の森林従事者人材育成機関の講師による指導のための訓練活動を実施（2011 年度）。資金支援額は、278 百万円（ただし、カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、中央アフリカに対する合計額）

²⁰ 出典：IUCN（2012）IUCN's Pro-poor REDD project.

²¹ 出典：WWF（2012）Sustainable forest management in Southeast Cameroon.

²² 出典：外務省（2012）国際協力 国別プロジェクト概要 カメルーン共和国.

4 UNFCCC への関与情報

4.1 UNFCCC での取組状況

【表 1-5 UNFCCC での取組状況】²³

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1995年12月18日
京都議定書	批准：2002年8月22日
DNA 担当組織	環境省 (MoE)
第1次国別報告書	2002年10月8日提出
第2次国別報告書	未提出(2012年12月31日現在)

4.2 NAMAs における REDD プラスの位置づけ²⁴

- ➡ カメルーンは REDD プラスや CDM、再植林活動のほか、国家緩和戦略の一部として策定される緩和行動を通じて NAMA に着手するとしている。

5 UNFCCC へ提出している森林情報

【表 5-1 A/R CDM のための森林定義】²⁵

項目	値
森林面積	最小 0.5ha
樹冠率	最低 10%
樹高	最低 5m

【表 5-2 A/R CDM の対象森林】²⁵

項目	A/R CDM の対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	対象
オイルパーム	対象外

6 その他の特徴的な地球温暖化対策

- ➡ 中央アフリカ森林協議会 (COMIFAC) への参加を通じて持続可能な森林経営を推進している。

出典・参考資料

- ASB (2012) REDD-ALERT. ASB <http://www.asb.cgiar.org/index.php?q=content/redd-alert>
- ASB (2012) Reducing Emission from All Land Uses. ASB <http://www.asb.cgiar.org/index.php?q=content/realu-reducing-emissions-all-land-uses>
- CBD (2012) Conserving the Cross River Gorilla Landscape: Piloting a landscape-scale approach to Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD). CBD <http://www.cbd.int/lifeweb/project.shtml?did=%206231>
- DFID (2012) Forest Governance Facility. DFID <http://projects.dfid.gov.uk/project.aspx?Project=102888>

²³ 出典：UNFCCC (2012) Parties & Observer States: Cameroon.

²⁴ 出典：UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention.

²⁵ 出典：UNFCCC (2012) Designated National Authorities.

- GFA Envest (2012) Mt. Cameroon- REDD+ Feasibility Study. GFA http://www.gfa-group.de/envest/projects/gfa_envest_projects_eng_3431628.html
- Global Green Carbon (2010) Cameroon/ The Dja Biosphere Regional REDD+ Project. Global Carbon Project <http://www.globalgreencarbon.com/projects/cameroon-dja-biosphere-regional-redd>
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011. ITTO http://www.itto.int/direct/topics/topics_pdf_download/topics_id=2645&no=1&disp=inline
- MINEP, GAF (2009) Preliminary Results and Perspectives of the REDD Pilot Project in Cameroon. COMIFAC <http://www.comifac.org/Members/tvtchuante/expose-preliminary-results-and-perspectives-of-the-redd-pilot-project-in-cameroon-dr-joseph-amougou-cameroon-climate-focal-point-minepdr-thomas-hausler-gaf-ag>
- 外務省 (2012) 国際協力 国別プロジェクト概要 カメルーン共和国. 外務省 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/africa/cameroon/contents_01.html#m012302
- Planet Action (2012) Sustainable Forest Management in East Cameroon. Planet Action <http://www.planet-action.org/web/85-project-detail.php?projectID=4742>
- REDD Desk (2012) Making the Forest Sector Transparent. REDD Desk http://www.theredddesk.org/countries/cameroon/info/activity/making_the_forest_sector_transparent_cameroon
- Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/Cameroon%20final%20R-PP-English-October,%202012.pdf>
- Spain-UNEP (2012) Takamanda National Park, Cameroon. Spain-UNEP <http://www.spain-unespforpas.org/takamanda-national-park-cameroon.html>
- UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention. UNFCCC <http://unfccc.int/resource/docs/2011/awglca14/eng/inf01.pdf>
- UNFCCC (2012) Parties & Observer States: Cameroon.
- WWF (2012) Sustainable forest management in Southeast Cameroon. WWF http://wwf.panda.org/who_we_are/wwf_offices/cameroon/?uNewsID=144321
- WWF (2012) Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project. WWF http://wwf.panda.org/who_we_are/wwf_offices/cameroon/wwf_cameroon_conservation/projects/index.cfm?uProjectID=CM0862

本レポートは、2012年12月31日までに公表された情報に基づく。